

保護管付き熱電対の取り扱い注意事項

1. セラミック保護管部分は急熱・急冷を避けて下さい。
熱ショックによる破損の恐れがあります。取り付けにあたっては予熱をするか時間をかけて加熱を行って下さい。機械的衝撃に弱いため、一層の注意が必要です。
2. 表面は金属でも、セラミック部品を使用している製品は取り扱いに十分ご注意下さい。
3. 端子箱と計器までの配線には、必ず熱電対の種類に合った補償導線をご使用下さい。
他の導線の使用は測定誤差の原因となります。
配線時は極性（+・-）、端子のネジの緩みに注意してください。
4. 機械装置に取り付けられたセンサーを、足場や支持具に使用しないで下さい。